

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)



平成18年 8月 7日

上場会社名 丸全昭和運輸株式会社

(コード番号：9068 東証第1部)

(URL <http://www.maruzenshowa.co.jp/>)

代 表 者 取締役社長 野口 正剛

問合せ先責任者 取締役経理部長 山形 正治 (TEL：045 — 671 — 5861)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結(新規) 4社 (除外) 1社 持分法(新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満切捨

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	22,513	3.5	1,074	25.5	1,258	20.9	850	27.0
18年3月期第1四半期	21,746	2.8	856	△7.5	1,041	△3.4	669	7.9
(参考)18年3月期	87,641		3,170		3,581		2,333	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	9.38	8.47
18年3月期第1四半期	7.39	—
(参考)18年3月期	24.99	24.27

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	102,363	52,458	51.2	578.44
18年3月期第1四半期	89,349	47,558	53.2	524.67
(参考)18年3月期	103,390	52,991	51.3	584.79

(参考1) 個別経営成績等の状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	18,595	3.9	895	19.7	1,071	14.3	753	23.6
18年3月期第1四半期	17,891	0.9	747	△8.3	936	△4.2	609	5.4
(参考)18年3月期	72,340		3,051		3,334		2,220	

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	46,500	2,000	1,250
通期	93,000	3,900	2,450

1株当たり予想当期純利益(通期) 27円04銭

(参考2) 平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	38,000	1,800	1,150
通期	76,000	3,600	2,300

(注)業績予想については、本資料発表時点で入手可能な情報を前提に算出したものであり、実績は異なる結果となる可能性があります。

経営成績及び財政状態

1. 経営成績

①当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の拡大、個人消費の増加に支えられ、緩やかな回復基調に推移しました。しかし、運輸業界においては、中国向けを中心とした国際輸送関連貨物が堅調な動きの一方、国内貨物は、生産関連貨物や消費関連貨物が堅調な動きとなりましたが、建設素材関連貨物が依然として低調に推移し、国内貨物量の減少傾向に歯止めはかかっておりません。さらに、原油価格の高止まり、改正道路交通法の施行、企業間競争の激化等が重なり、依然として厳しい状況が続いております。このような状況下、当社グループは、特に今年度は「第三次中期経営計画」の初年度として、営業力と現場力を強化し、既存業務と共に3PL事業の拡販による売上げの拡大、そして、経営効率化並びにコストダウンの追求による企業基盤の強化につとめてまいりました。

その結果、燃料費の高騰やシステム導入によるソフトウェア償却費の増額等の収益圧迫要因はありましたが、連結会社の増加、新規業務の獲得、既存業務の深耕、そして総コスト圧縮などにより、当第1四半期の収益は当初の計画通りに推移し、連結売上高は22,513百万円と前年同期比766百万円（3.5%増）の増収、連結営業利益は1,074百万円と前年同期比218百万円（25.5%増）、連結経常利益は1,258百万円と前年同期比217百万円（20.9%増）、連結当期純利益は850百万円と前年同期比180百万円（27.0%増）の増益となりました。

なお、事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります

（当第一四半期）

（単位：百万円）

区 分	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日					
	物流事業	構内作業 及び機械 荷役事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	17,863	3,884	765	22,513	(-)	22,513
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	108	108	(108)	-
計	17,863	3,884	874	22,622	(108)	22,513
営業費用	17,137	3,642	767	21,547	(108)	21,438
営業利益	725	241	107	1,074	(-)	1,074

（前第一四半期）

（単位：百万円）

区 分	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 6月30日					
	物流事業	構内作業 及び機械 荷役事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	17,484	3,718	543	21,746	-	21,746
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	17,484	3,718	543	21,746	(-)	21,746
営業費用	16,908	3,514	467	20,889	(-)	20,889
営業利益	576	203	76	856	(-)	856

②当期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の見通し

平成18年5月15日の決算短信（連結）で発表した見通しは、変更ございません。

2. 財政状態

当第1四半期の財政状態につきましては、総資産は前第1四半期末と比較して13,014百万円増加しましたが、それは主に社債5,000百万円及び純資産4,900百万円の増加によるものです。

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成18年6月30日現在)		前第1四半期 (平成17年6月30日現在)		比較増減	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	33,088	32.3	27,020	30.2	6,067	32,136	31.1
現金及び預金	8,684		5,946		2,738	11,249	
受取手形及び営業未収金	17,979		17,051		927	17,523	
有価証券	1,598		50		1,548	—	
たな卸資産	181		158		22	126	
繰延税金資産	593		545		48	508	
その他	4,073		3,290		783	2,748	
貸倒引当金	△23		△21		△1	△19	
固定資産	69,275	67.7	62,328	69.8	6,946	71,253	68.9
有形固定資産	41,618	40.7	40,223	45.0	1,395	41,689	40.3
建物及び構築物	21,719		20,480		1,238	21,915	
機械装置及び車両	3,547		3,415		132	3,467	
土 地	16,176		15,825		351	16,171	
その他	175		502		△327	135	
無形固定資産	2,203	2.2	2,728	3.1	△525	2,617	2.5
投資その他の資産	25,453	24.8	19,376	21.7	6,077	26,946	26.1
投資有価証券	20,324		14,816		5,507	22,198	
その他	5,237		4,648		589	4,854	
貸倒引当金	△107		△88		△19	△108	
資産の部合計	102,363	100.0	89,349	100.0	13,014	103,390	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成18年6月30日現在)		前第1四半期 (平成17年6月30日現在)		比較増減 金 額	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債	24,872	24.3	24,978	28.0	△106	24,402	23.6
支払手形及び営業未払金	9,004		8,613		391	9,309	
短期借入金	10,064		10,935		△870	10,225	
その他	5,802		5,428		373	4,866	
固定負債	25,032	24.5	16,779	18.8	8,253	25,956	25.1
社債	5,000		—		5,000	5,000	
長期借入金	11,385		9,623		1,762	11,553	
退職給付引当金	3,745		4,413		△667	3,908	
その他	4,901		2,743		2,158	5,494	
負債の部合計	49,905	48.8	41,757	46.8	8,147	50,358	48.7
(純資産の部)							
株主資本	45,332	44.3	—	—	—	—	—
資本金	9,117		—		—	—	
資本剰余金	7,844		—		—	—	
利益剰余金	30,544		—		—	—	
自己株式	△2,173		—		—	—	
評価・換算差額等	7,082	6.9	—	—	—	—	—
その他有価証券評価差額金	7,212		—		—	—	
為替換算調整勘定	△130		—		—	—	
少数株主持分	43	0.0	—	—	—	—	—
純資産の部合計	52,458	51.2	—	—	—	—	—
負債及び純資産の部合計	102,363	100.0	—	—	—	—	—
(少数株主持分)							
少数株主持分	—	—	32	0.0	—	39	0.0
(資本の部)							
資本金	—		9,117		—	9,117	
資本剰余金	—		7,843		—	7,844	
利益剰余金	—		28,745		—	30,086	
その他有価証券評価差額金	—		4,187		—	8,243	
為替換算調整勘定	—		△175		—	△127	
自己株式	—		△2,160		—	△2,172	
資本の部合計	—	—	47,558	53.2	—	52,991	51.3
負債・少数株主持分及び 資本の部合計	—	—	89,349	100.0	—	103,390	100.0

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目		当第1四半期		前第1四半期		増減金額	前連結会計期間	
		自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		自平成17年4月1日 至平成17年6月30日			自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
		金額	比率	金額	比率		金額	比率
経常 損益 の 部	営業 損益 の 部	22,513	100.0%	21,746	100.0%	766	87,641	100.0%
	営業 収入	22,513		21,746		766	87,641	
	営業 費用	21,438		20,889		548	84,470	
	営業 原価	20,519		20,015		504	81,091	
	販売 費及び 一般 管理費	918		874		44	3,379	
	営業 利益	1,074	4.8%	856	3.9%	218	3,170	3.6%
	営業 外 損益 の 部	267		263		4	771	
	営業 外 収 益	195		179		16	345	
	受取 利息 及び 配当 金	34		46		△12	242	
	持分 法に よる 投資 利益	37		36		0	183	
雑 収 入								
営業 外 費 用	83		78		4	359		
支 払 利 息	71		69		1	280		
雑 損 失	12		9		2	79		
経 常 利 益	1,258	5.6%	1,041	4.8%	217	3,581	4.1%	
特 別 損 益 の 部	特 別 利 益	162		98		63	466	
	特 別 損 失	7		16		△9	311	
税金等調整前第1四半期(当期)純利益		1,414	6.3%	1,123	5.2%	290	3,736	4.3%
法人税、住民税及び事業税		515		396		118	1,086	
法人税等調整額		45		54		△9	311	
少数株主利益		3		2		0	4	
第1四半期(当期)純利益		850	3.8%	669	3.1%	180	2,333	2.7%